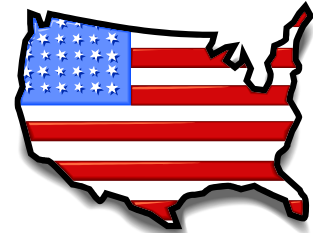


# 2005 年度 法政海外フィールド・スタディ

## 法学部 堀田秀吾先生による「ジョージタウン日記」

(2005 年度引率教員)



初日:

< 関西国際空港出発 ~ DC 到着 ! >

今日のは出発日。11時15分に南ウイング団体カウンターに集合でしたが、引率という重大任務を受けていた私は、念のため、その30分前に到着して参加者のみなさんを待つことに。私は某タクシー会社の空港シャトルを利用。参加者のみなさんはバス等で京都駅に行き、「はるか」に乗って関空へ。参加者がお互いに約束をして2グループに分かれて固まって来たおかげもあったか、特に誰も遅れることなく集合。みんな気分が高揚しているのか、旅行会社の方のお話を上の空(笑)引率教員としては不安を覚えながらも、とりあえず荷物をあずけ、出国審査へ。この時点で搭乗まで残り20分だったので、一旦、解散して簡単に免税店を見たり、トイレに行ったりするために一旦解散。そして、再びちゃんと集合し搭乗。飛行機は一番後ろの方に固まって着席。ちょっとした遠足/修学旅行気分。最初ははしゃいでいたものの、さすがに前の晩は緊張して眠れなかったり、用意が大変だったりで疲れていたのか、映画を上映している間、ほとんどの人はご就寝(笑)結構、いい映画だったのに...そんなこんなで気がついたらデトロイト。そしていよいよ緊張の入国審査。なんとか無事に審査場を通過。乗り継ぎまで時間がないと聞かされていたので、預け入れ荷物を急いでピックアップして乗り継ぎの飛行機のターミナルへ。あせって移動したものの、結局、デトロイト行きの飛行機が30分ほど早く着いたおかげで、次の登場まで少し時間があいたので、デトロイト空港内で再び自由行動。ところが、A78ゲートで待ち合わせたのに、集合時間直前にA65ゲートに変更され、かなりあわてましたが、ここは参加者のリーダー(M君)がうまく対処してくれて、無事集合、そして搭乗。飛行機の中では再び一番後ろの席へ。今回は客室乗務員のすぐそばだったこともあり、参加者はいろいろなことで客室乗務員に注意されっぱなし(爆)大騒ぎをしながら(途中、寝ている人もいましたが)乗っている間に飛行機はDC上空へ。ペンタゴンなどを見下ろしながら、ワシントン・リーガン・ナショナル空港へ到着。空港では、月曜日からお世話になるKubicki先生が出迎えに来てくれて、みんな緊張しながらご挨拶。そして、私はひとりでメトロ(地下鉄)に乗って、学校の近くの滞在先のホテルへと移動。参加者は各自、GU(Georgetown University)側が用意してくれたタクシーに分乗してホームステイ先へ。そこで事件発生!タクシー会社側のミスで、分乗する人を間違えたらしく、もう一台のタクシーと再び合流することに。その後、ごたごたしながらも最終的にはそれぞれの目的地へ到

着。アメリカでは、こういう単純なミスによるトラブルに巻き込まれることが多いので、自分がしっかりしなければいけないのですが、そう言ったアメリカの側面を初日から体験できたという感じでしょうか？  
なんとか大きな問題もなく(?) 予定をこなした一日でした。全部で8人というサイズはまとまりやすく、また、参加者同士もかなり仲良くできていたのでよかったです...って、このまとめ方はまだ早いかな？

### < 2日目 >

今日は自由行動。参加者の大半は、小雨の中、月曜日の授業開始に備えてジョージタウン大学の下見に。私はホテルで、だらだらしていたら、GU の下見に行っていた参加者達が近くを通りかかったということで、寄ってくれました。そこでホームステイ先の様子などの情報交換。英語だけの世界に少し戸惑いながらも、がんばっている様子にお互い刺激や安心感をいただきながら、(途中、寝ている人もいましたが) 1, 2時間、ホテルで暖を取り、みんなで近くのペタゴンシティにあるショッピングモールへ移動。しかし、時差ぼけ&疲れから、結局店はちらちらと見た程度で終了し、そのままフード・コートでご飯を食べて、夜から大雪ということで早めに帰宅。GU に行かなかった参加者はホストファミリーや同居の留学生とお出かけをしていたようです。しかし、みんな時差ぼけがひどかったぁ。

### < 3日目 >

雪はやんでいて快晴。朝から参加者の一人が企画した NBA 観戦ツアー (MCI センター) へ。[全員参加] 76ers 対 Wizards。Arena や Iverson と言った一流選手のプレー、生ダンク、アリウープなどのすごいプレーに大興奮。ハーフタイムや作戦タイムの間に催されるさまざまなエンターテイメントを満喫しながら(途中、寝ている人もいましたが) 大満足の中、MCI センターを後に。そして、隣接するチャイナタウンに行き、引率教員の強引な導きでちょっと早めの夕食。日本のラーメンと違う中国のラーメンや酢豚、焼き豚、炒飯に舌鼓を打ちながら、(横柄な店員に舌打ちされながら、) チャイナタウンを軽く探索し、地下鉄駅前のドラッグストアへ。いろいろと必要なものを買って、翌日から始まる授業へ備えて帰路へ。異国気分を満喫した一日でした。来年から、MCI ツアーは MUST にすべきだな～。We had a great weekend!

### < 4日目:授業初日 >

緊張の授業初日。建物の中で多少迷いつつもなんとか遅刻せずに集合場所へ。そして、まずは International Program Office の方から VISA についての説明を30分ほど受けたあと、Kubicki 先生に連れられて school tour へ。巨大なキャンパスを練り歩いているといつの間にか昼時。先生といっしょに cafeteria で lunch。さすが物価が高いと有名な DC。lunch でさえ、日本円で1000円弱かかるということで、明日からは lunch は家から持ってきてようとかたく決意。lunch を終わると、午後の授業まで少し授業があったので、bookstore へ。bookstore では、アメリカの学校はどこでもそうですが、いろいろな Georgetown グッズが売っていて、みんなでお土産品を物色(笑) GU のスクールカラーやロゴデザインはなかなかいいなぁ。みんなでまたもや大騒ぎしているうちに、次の授業の時間が迫ってきたので次の教室がある Intercultural Center へ移動。午後の授業はまず、computer lab で、職員による computer facility

の使い方を学び、そのあと同じ建物内の別の教室へ。そこで Kubicki 先生によるスケジュールの説明、翌日以降の授業の進め方や宿題などの説明を受け、ちょうど3時頃に解散。みんなでそのまま Georgetown の街へ。先生に言われたとおり、仲間同士でもちゃんと英語で会話を続けつつ、本日の宿題、「見知らぬ人に話しかける」という課題を実践。shopping mall で、店の人に話しかけたり、街頭で看板を持ってパフォーマンスをしている人に話しかけてみたりしながら、何とか課題をクリア。そうしてこの日はそれぞれ帰路に。まあ、orientation day は無事に済んだという感じでしょうか。明日からいよいよ本格的な授業。

#### < 5 日目 : 授業 2 日目 >

今日は、Clarendon という駅にある、サテライト・キャンパス(?)に移動。近代的な超綺麗な教室。本当に GU は綺麗な大学だ。GU は本当、一、二を争うくらい綺麗な学校です。古い大学なのに。で、参加者もさすがに英語環境で頭も英語になってきたのか、今日は別用があって遅れて授業にやってきたので教室外で待っていた私にほぼ全員が自然に英語で挨拶をしてきました。午前の授業も楽しく順調に終了。午後は、Georgetown Law Center に行くために電車に乗って Union Station へ。Union Station の food court で昼食を済ませ、いざ、Georgetown Law Center へ。Georgetown Law Center では、職員の人だけでなく、大学院修士課程に在籍されている日本人の方達にも案内をしていただいて、図書館やその他の施設を見学。まあ、巨大なロースクールなこと。そして綺麗。さらに、案内役を買って出してくれたマキさんのあまりの英語の流暢さに驚愕。そして、見学のあと、案内をしてくれたマキさんとマコトさんの計らいで他の日本から留学に来ている方々と交流の場を設けていただいて、しばし歓談。日本からの留学生とは言ってもさすがにアメリカの首都のロースクールだけあって、日本の省庁の方々、弁護士の方々、検察官など、憧れの職業の方々が勢ぞろい。日本ではありえないようなこのすばらしい顔ぶれ、そしてこのチャンスを活かすべく、人生相談から勉強の相談までさまざまな相談に乗っていただきました。(Georgetown Law School のみなさん、お忙しい中、本当にありがとうございました!!!) Rits の学生のみなさんも、非常に刺激を受けたらしく、もう今すぐでも帰って勉強したいという気持ちになる人も(笑)とにかく、この上ない良い刺激に。モチベーション、すごいあがったね~。

#### < 6 日目 : 授業 3 日目 >

参加者のみなさんも、大分、こっちの生活、授業に慣れてきたのか、立ち振る舞いがかなり堂々としたものに。授業も楽しそうに受けているし、自ら進んで質問をする機会も増加。英語も大分スムーズに出てくるようになってきている感じで、かなり良い感じ。午前は前日と同じ場所で普通の英語の授業を。午後は、「インタビューの仕方: その1」の授業ということで、最終週のインタビューのタスクに備えて、今日は特に「どういう質問の仕方をすればいいのか」を学習。Taboo や質問の作り方などを学びました。これは私自身の授業でも使えるなぁなどと思いながら、教室の端っこで見学させてもらいました。

#### < 7 日目 : 授業 4 日目 >

DC に来て、早一週間。みんな、大分、アメリカ人化してきました(笑)日本人だけの時も、先生の言

いつけ通り、英語で通すことをちゃんと(それなりに?)守っているし、なかなか偉いですぞ、みなさん。今日は午前中はいつものところで英語のお勉強。そして午後から Goodman 先生の特別抗議を聞きに Georgetown Law Center (= ロースクール) へ。Goodman 先生は広島大学で3年間教鞭を執っていたという経緯もあり、まずは日本語で挨拶をしてくださり、それから日本とアメリカの法制度の違いに関する講義。日本人に教えることになれていらっしゃるの、非常にゆっくり、わかりやすく説明してくださり、受講者も大満足。時間いっぱいまで受講者から質問が飛び交い、初レクチャーは大成功。レクチャーの後は、Bookstore でお土産を買ったり、アメリカの本を買ったりしていたら、先日、懇談会でお会いした日本から政府の派遣で留学に来ている某省庁の T さんに偶然お会いし軽く立ち話。また大きな刺激を受けながら Law Center を後に。そしてキャピタル・ヒルを横目にしながら、Union 駅で買い物をして岐路に。本当に毎日が超充実。

#### < 8日目:授業5日目 >

今日は今週最後の授業。午前中はいつもの場所で英語の授業。午後はメインキャンパスで、インタビューの仕方についての授業。ただし、今日はまた新しい教室で。Car Barn と呼ばれる、「エクソシストの階段」の隣にある建物の中にある教室。どうやら MBA の人たち用の建物らしい。外見は古びたレンガ造りの建物なのですが、中は近代的。すごく綺麗。本当に GU は綺麗な教室ばかりです。500ML ボトルのジュースが3ドル強(400円)するのもうなずける(笑)毎日目いっぱいのメニューだったので、ちょうど息切れしかかっている人もいるかなあと思いきや、結構みんな元気。今週は何とか無事に終わりそうです。明日も大半の人は Kubicki 先生と DC ツアーに行くそうで。いやあ、面倒見のいい先生です。ペンタゴン見学の交渉もしてくれて、どうやらうれしい追加メニューが実現しそうです!ところで今日は DC はとんでもない強風。NY を襲ったというストームの影響でしょうか。本当にすごい風。Roslyn と Georgetown を結ぶ橋を渡っていたら、吹きさらしだったので、もろにやられました。正面にすると呼吸困難になるほどの風で、さらにキツイことに、風にまじって小さな石(米粒の半分くらいの大きさ)が、がんがん飛んできて痛いこと、痛いこと。地獄を見ました。都市部でこんな経験、なかなか日本ではできないだろうなあ。

#### < 9日目:土曜日 Field Trip >

いろいろと相談した結果、この土曜日は2班に分かれて行動。1つの班は Kubicki 先生と Smithsonian のツアーへ。もう一方の班は Whitetail という山にバスでスノーボードに。私はスノーボード班だったのですが、朝からバスに乗って山へ。朝9時半から夕方4時過ぎまでたっぷり滑ってきました。今年は雪が少なかったので人工雪でしたが、それほどきつくない斜面が4, 5本程度あって、さすがスノーボードの本場だけあって、Play Field はかなり充実してました。しかし、ちょっと斜面が硬かったし、レンタルしていた板があまり合わなかったのもあって、おとなしく普通に滑って帰ってきました。バスとリフトとレンタル、全部で一万くらいでした。まあ、日本とあまり変わりませんね。やっぱり、ロッキーに行きたかったなあ...

### < 10日目:日曜日 >

この日は休み。みんなばらばらに行動。何してたのかな？

### < 11日目:祝日 Field Trip >

今日は President's Day ということで祝日。しかし、Kubicki 先生と Mt. Vernon へ Field Trip。George Washinton の生家などを訪問。

### < 12日目:授業6日目 >

今日は午前中はいつもの Clarendon にある校舎で英語の授業。そのあと、となりの駅にある Detention Center へ。中では conservative にするようにと事前に注意。ここは Prison(刑務所)ではなく、Jail(拘置所)なので、判決前の inmate が拘留されているそうです。見慣れない東洋人の一段に inmate 達は一斉に注目。緊張しましたぁ。現在、約 600 人の人が拘留中だそうです。うち、女性は 78 人。比較的自由な行動が認められており、読書をしたり、テレビを見たり、バスケットをしたり、ジム・トレーニングをしたりできるようでした。危険な inmates 達は別の階に集められているらしいのですが、そこは見せてもらえませんでした。Sheriff も inmate を呼ぶときは Mr.をつけてよぶし、話しかけるときは最後に sir もつけてました。お互いに Respect することが大事らしいです。女性の inmate の施設も見学。海外 FS の目玉の一つである拘置所の見学。ちょっと時間は短かったですが、テレビで見るそのままの世界が繰り広げられてました。ただ、やっぱり本物はかなり緊張感もありました。

### < 13日目:授業7日目 >

本日は午前中はいつものところで英語の授業。午後はメインキャンパスでプレゼンテーションの練習。今日の特別な出来事は、授業のあとで、有志を募ってバスケットをしに体育館へ。ちょっとシュートをして練習をしていたら、見ず知らずの学生達が「5対5」でやろうというので参加。いやあ、激しい、激しい。体はでかいし、当たりは強いし！年寄り途中でダウンして、そばにいた人と交代(T\_T) 年寄りはそのままその日は引退したけど、そして、しばらくしてから、また若い子達は知らない学生と2対2でゲームを。念願のバスケが出来た日でした。

### < 14日目:授業8日目 >

今日はゲストスピーカーが来るはずでしたが、どうしても都合がつかないということで、金曜日に変更。ということで、午前中はいつものところで英語の授業を受け、午後はやはりプレゼンの練習。今日もバスケットをする約束だったので、年寄りは体育館で先に練習することに。ところで待てど暮らせどだれも来ない。そう、この日はみんなに裏切られたのでした(T\_T)

### < 15日目:授業9日目 >

今日は今までで一番忙しい日。朝8時15分に Law Center で待ち合わせ、Law School の Richard Roe 先生の先導で DC の貧困層の学校に Legal Clinic の授業を受けに。同じ DC とは思えないほどの街の荒れ様。店という店はつぶれているか、開いていてもガラスには鉄格子が。(特に Good Hope と書いてある店がつぶれているとはなんと皮肉な光景。)高校につくと、入り口には金属探知機が。それを抜けると教室へ。電気の供給もままならない、荒れ果てた校舎。教室にドアはなく、セキュリティーが見張っている。学生は99%が黒人の子供達。これも本当のアメリカの一部なんだと(参加者のみなさんは)ショックを受けながら、教室で待つこと数分。授業が開始。識字率がかなり低いと聞かされていたのですが、授業が始まるとさすがにもう何ヶ月もやっているだけあって、これがなかなか。難しい単語もたくさん含まれたとある事件の概要を読んで、それに関する劇をしたり、いろいろゲームをしたり。生徒さん達も生き活きと授業を受けていることに少々感動を覚えつつ、次の学校へ。ここは Roe 先生達が作った学校で、同じような地域にあるのに、雲泥の差。綺麗で設備の整った校舎。制服。秩序だった学校生活。まったく別世界がそこに。先ほどの学校では字を書かせることさえしなかったのに、こちらの学校ではいきなり小テスト。参加者のみなさんも驚きを隠せない様子。授業の前に、Roe 先生から DC の子供達に関する話、学校事情、Georgetown Law Center が果たしてきた役割など、本当にためになる話を聞かせてもらいました。授業が終わると、まだまだ Roe 先生に聞きたいことがあり、後ろ髪を引かれつつも午後のゲストスピーカーの話を聞くためにメインキャンパスへ。国際人権問題で活躍している弁護士さんを迎え、1時間ほど講義を聞きました。ちょっと早口の弁護士さんに戸惑いながらも発展途上国の労働問題など、いろいろなお話が聞けて満足。その後、みんなで Kennedy Center へ。無料ツアーに参加し、Center のホールを見学し、その後ご飯を食べに、Watergate へ。ご飯を済ませると再び Kennedy Center へ。そして、無料コンサートに耳を傾けながら、しばし休憩。そうしている間に本日最後のイベント、National Symphony Orchestra のコンサートを聴くためにホールの中へ。そして生のオーケストラに感動。心地よい音楽に夢の世界へいざなわれている人もいましたが、そうしているうちにいよいよ MIDORI (ゴトウミドリ) の登場。迫力の演奏に大感動。会場もスタンディングオベーションで、いつまでも拍手が止みませんでした。で、気がついたらなんと、10時半。ああ、明日も早いんだよなぁと泣きながらみなさん岐路に。いやぁ長い一日でした。

#### < 16日目: フィールド・トリップ >

今日は朝からフィールド・トリップ。今回の留学の二つ目の目玉、White House の見学。残念ながら Bush 大統領には会えませんでした(笑)。王宮のような建物の内部を見学してきました。そしてそれが終わると Old Post Office で昼食を。そのあと、Capital の見学。そして気がつくともう4時。今夜は Potluck Party があるので、とりあえず解散。そして6時半に再びとあるホストの家に集まり、Kubicki 先生も呼んでの Potluck Party! 久しぶりの日本料理に舌鼓。ゲストのみなさんも非常に喜んでくれました。そして気がついたらもう9時。今日も朝早かったし、ということで解散。いやぁ、充実した一日でした。

#### < 17日目: 日曜日 >

今日は各自自由行動。

#### < 18日目:授業10日目 >

この日は、午前中は、突然、授業の予定を変更し、隣の駅の Arlington の裁判所へ。Plea Bargaining を3つほど見学しました。残念ながら Jury Trial になるものはありませんでしたが、日本にはないシステムに学生たちは興味津々。われわれが海外からの見学者だとわかって、最後に、裁判官が何か質問はありますかと聞いてくれるなどの大サービス。午後は普通の授業でした。

#### < 19日目:授業11日目 >

この日はいつものように午前は英語の授業。それが終わったあとに、地下鉄で Dupont Circle という駅に。そして、アメリカのシンクタンクの老舗、Brookings Institute へ。元外交官で、日本にも滞在経験のある Schoettle 氏に Brookings Institute の機能、歴史などに関するレクチャーを聴きました。

#### < 20日目:授業12日目 >

この日は朝からペンタゴンツアー。駅で写真を撮っていたら、警備の人に怒られ、画像を強制削除させられました。やはりこの警備はかなり厳しいです。中に入ると、ショッピングセンターがあったり、診療所があったりと、ほとんどひとつの街がそっくり建物の中にある感じでした。軍人さんの James の案内を受けながら、施設内の各所を見学。特に印象に残ったのが、9・11の事件のときに飛行機が突っ込んだ場所に建築された慰霊のための部屋。事件が本当にあったのだということを実感できる場所でした。非常に重かったです。みんなで被災者の方の冥福を祈り、記帳をしました。午後は、メインキャンパスに戻って、明日に控えた最後の集大成とも言えるプレゼンテーションの準備。

#### < 21日目:授業13日目 >

今日は、午前中はいつものところで英語の授業。午後はプレゼンテーション本番。みんなスーツを着て、かなり本格的に Formal なプレゼンテーションをしました。多少の緊張はあったでしょうが、なかなかみなさん、堂に入った見事なプレゼンテーションを披露。その後、C L E D の Director である Hansen 先生、そしてこのプログラムのコーディネーターをしてくださった Ai-Hui さんから表彰式&ミニ・パーティー。Georgetown University の名前の入った修了証にみんな大満足。がんばった甲斐がありました。

#### < 22日目:授業最終日 >

今日は朝から Supreme Court 見学。総大理石作りの荘厳な建物に圧巻。そして、中で最高裁判所に関するビデオを見たりショッピングをした後、法廷にボランティアによる最高裁判所の機能などに関するレクチャーを聴きに。さすが最高裁判所の法廷は威厳がありました。そして、裁判所見学を終えると、Library of Congress へ。そして、無料ツアーに参加。これはどちらかというと観光色の強いものでした。そして、そこで3週間お世話になった Kubicki 先生と最後のお別れを。その後、自由行動ということで、一人は

National Health Institute に見学へ。もう一人は Spy Museum へ。そして残りの面子で、その前の週に Street Law の授業を見せてもらった Roe 教授のご好意で設定してもらった質問会のため、Georgetown Law Center に。そして最後に法と教育に関する、含蓄のあるお話を聞きました。そして、この日はDC最後の夜ということで、みんなで食事に。Chinatown にある、なかなか雰囲気のある Thai 料理屋に行きました。

### < 23日目:DC 出発 >

いよいよ日本に帰国の日。朝7時半に空港に集合。約一名を除き、全員、時間通りに。その遅刻した一名も、電車が遅れたことと、空港内で迷ったことが原因。幸い、携帯電話を所持していたので、連絡を取りあって、特にあわてる事無く集合。そして、搭乗手続き。荷物検査を経て搭乗ゲートへ。ところがここで問題発生。なんと飛行機が40分の遅れ。デトロイトでの乗り継ぎ時間もあまりないため、かなりひやひやでしたが、結局、なんとか乗り継ぎ便にも間に合い、13時間の飛行を経て日本に到着。荷物も紛失することなく無事にピックアップ。そして、税関を抜けたら、JTBの甲斐さんが出迎えに来ていてくれました。そして、それぞれの自宅に向けて解散。短かったけれど、本当に内容がつまっていて、「元は取った」と皆、口々に言っておりました。みなさま、本当にお疲れ様でした。

